



7月園だより

2021年7月
尚徳福祉会
沼袋西保育園
園長

6月下旬に、職員1名のコロナ陽性者が確認され、皆様にご心配をおかけしましたこと、お詫び申し上げます。今後もより一層、感染対策に取り組んで参ります。

6月は気温が上り、子どもたちは園庭で、自ら靴を脱いで裸足になり、開放的な気分を楽しんでいます。これからは、五感を刺激するような、水遊びや泥んこ遊び、泡遊び、片栗粉、スライム、ゼリー、色水遊びにボディペインティングと、夏ならではの遊びをいっぱい楽しみ、自分を解放していきます。

最近のフィンランドの研究結果で、泥んこ遊びは子どもの免疫力を改善し強化することがわかったそうです。泥んこ遊びは理にかなった遊びだったのです。

お洗濯物が増えるかも知れませんが、沢山遊べてよかったね、とほめてあげてください。ご協力、どうぞよろしく願いいたします。

☆7月の予定☆

- 1日(木) 避難訓練
- 7日(水) 七夕の会
- 8日(木) 幼児身体計測・0歳児健診
- 9日(金) 乳児身体計測
- 16日(金) 夏まつり
- 26日(月) 0歳児健診(9時30分～)

※5日・12日・26日の各月曜日、英語であそぼう

☆8月の主な予定☆

- 3日(火) 避難訓練
- 4日(水) 幼児身体計測
- 5日(木) 乳児身体計測
- 12日(木) 0歳児健診
- 24日(火) ふれあい移動水族館
- 26日(木) 0歳児健診

※2日・23日・30日の各月曜日、英語であそぼう

☆お知らせ・お願い☆

- 登降園の際は保護者様のマスクの着用、手指消毒を、お子さまは登園後すぐに手洗いをお願いいたします。また、園内での滞在時間の短縮にご協力いただき、密を避けお迎え後は速やかに降園をお願いいたします。
- ご家族でPCR検査を受けられる方がいる場合は園にお知らせくださいますようお願いいたします。
- 今後、新型コロナウイルス感染症の陽性者が発生した場合や濃厚接触者が確認された場合には、関係機関と相談のうえ、一部休園又は、臨時休園を行う場合があります。他の園児・ご家族の間で罹患者が出た場合に、差別等の言動のないようにご配慮ください。
- 今年の行事も密集せず、クラス毎に行うなど、工夫して参ります。
-
- 夏まつりは、平日に子どもたちのみで行います。今年も地域の夏まつりが中止になっている所が多いようですが、園内で夏まつりの雰囲気を楽しみたいと思います。
- 今年のプールは4・5歳を対象に7/19(月)～7/30(金)の期間で行います。中野区保育園新型コロナウイルス感染症対応マニュアル(第2版)に則り、少人数ずつ行うため、一日一クラスとします。暑さ指数の基準と監視体制が満たされない場合は水遊びといたします。詳しい日程、準備等に関しましては各クラスの掲示をご覧ください。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。
- 車での登降園はご遠慮いただいております。事故防止のために、ご協力をお願いいたします。

子どもの心を育てるような しかり方をする



3～6歳 能力を伸ばす 個性を光らせる
主婦の友社 東京大学名誉教授 汐見 稔幸 氏

子どもの失敗を笑うような 余裕を持ちたい

民俗学者の柳田國男は、「日本人は昔から、子どもを厳しくしからなかった。失敗したら、みんなで『またやっちゃったの？あはは』と笑ってやった」というようなことを書いています。ゆったりした農村社会ゆえでしょうか。

失敗したとき、頭ごなしにどなりつけても、子どもは「あしたからがんばろう」という気にはなりません。それよりも「またやっちゃったの。しょうがないなあ。昔から、アブハチとらずと言うんだよ」とことわざで論じてあげたほうが、子どもの心にしみるはず。

どうしてしかられているのか説明する

しかる、ということは、そういうことをすると本人も周囲も迷惑だというときに、「それはいけないことだ」と教えることです。

幼児期になっても、しかられる理由はそれほどわかっているものではないです。お母さんの財布から黙ってお金をもらって、コンビニでゲームのカードを買ったとしても、子どもは、なぜそれほどしかられることなのかはわかっていません。

ですから、しかるときは「お母さんの財布からかってにお金を持って行って、1回やってばれなかったら、2回目も3回目もやってしまっ、平気で他人のお金を持っていく子どもになっちゃうよ。そういうのを泥棒って言うんだよ。ほかの人の財布から同じことをやったら、あなたは泥棒で、警察に行くことになる。だから、こういうことをしちゃいけないんだよ」と、どうしてしかられているかを、その子にきちんと伝える必要があるのです。

もちろん、どうしてそのようなことをしたのか、子どもの気持ちを聞いてあげることが大事です。子どもはまだ言葉がうまく使えないので、ていねいに聞いて、気持ちを言葉にださせてあげます。



子どもの人柄までしからない

しかるとき原則は、「子どもの人柄までしからない」こと。「お皿を割るなんてドジね。落ち着きのない性格だからよ」と性格をしかられても、子どもは直しようがありません。

性格の基本は親からもらったものですし、親に育てられてそのような性格になっているのですから、理屈っぽい子どもだったら「こうなった責任は親にあります。しかるのだったら自分をしかってください」と言うでしょう。

幼児期は自己認識ができてきて、「自分がどういう人間なのか」と関心がでてくる時ですから、「お前はドジだ」「おまえはダメだ」と言いつづけられたら、子どもは自信をなくしていくだけです。

ねちねちしからない、 以前のことを持ち出してしからない

「いつまでもねちねちしからないこと」「以前のことまで持ち出して怒らないこと」もたいせつです。「あのときはわかったって言ったのに、忘れちゃったの？何度言ってもわからないのね」と以前のことまで持ち出して、いつまでもしかっている、しかられるほうもいやになってしまいます。しかるときは、早く切り上げること。「これでおしまい」とけじめをつけてしかってください。人間ですから感情的になることもあるでしょうが、「しかるのは人生を教えること」とわきまえて、セルフコントロールをしてください。

「子どもをいくらしかっても言うことを聞かない」ともよく聞きますが、それは、いつものガミガミが始まった、と子どもの心に言葉が届いていないからだと思います。いつも「どうして言うことを聞かないの？」の繰り返し。「やだ」と言っただけでは、なんとかその場を切り抜けられる。そういう行動の仕方を学んだ可能性があります。ときには子どもの目をしっかり見て、「お母さんは、それは絶対に許さない」という迫力を持ち、真剣勝負でがんばってしかる親の姿勢もたいせつです。